



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 小野建株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長

(氏名) 小野 信介

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	92,880	15.8	2,965	57.8	3,070	54.0	2,136	59.5
29年3月期第2四半期	80,227	△13.7	1,879	△8.8	1,994	△7.4	1,339	△6.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,260百万円 (67.9%) 29年3月期第2四半期 1,346百万円 (0.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	103.08	90.12
29年3月期第2四半期	64.64	56.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	141,293	61,348	43.4
29年3月期	130,525	59,813	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 61,348百万円 29年3月期 59,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成29年11月6日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,680	9.7	5,723	5.9	5,906	4.7	4,178	9.2	201.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	21,244,830 株	29年3月期	21,244,830 株
30年3月期2Q	519,331 株	29年3月期	519,264 株
30年3月期2Q	20,725,527 株	29年3月期2Q	20,725,642 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しにより緩やかな回復基調が継続しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」に取り組んでおります。業績につきましては、前期に対し当第2四半期連結累計期間の売上高は、鉄鋼商品販売事業において販売数量の増加ならびに鋼材市況の上昇により928億80百万円（前年同期比15.8%増）となりました。損益面におきましても、売上高の増加、利益率の上昇に伴い営業利益29億65百万円（前年同期比57.8%増）、経常利益30億70百万円（前年同期比54.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億36百万円（前年同期比59.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

前期に対し、売上高は販売数量の増加、鋼材市況の上昇により増加いたしました。セグメント利益につきましても売上高の増加ならびに利益率の上昇により増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は515億65百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は18億33百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

②関西・中京エリア

前期に対し、売上高は販売数量の増加、鋼材市況の上昇により増加いたしました。セグメント利益につきましても売上高の増加ならびに利益率の上昇により増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は230億42百万円（前年同期比17.7%増）、セグメント利益は5億78百万円（前年同期比210.6%増）となりました。

③関東・東北エリア

前期に対し、売上高は販売数量は減少したものの、鋼材市況の上昇により増加いたしました。セグメント利益につきましても売上高の増加ならびに利益率の上昇により増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は182億72百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は5億65百万円（前年同期比105.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

前連結会計年度末比107億68百万円増加し、1,412億93百万円となりました。主な要因は、売上高の増加により受取手形及び売掛金が増加、鋼材市況の上昇により商品及び製品が増加、未完成工事の増加により前渡金が増加したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比92億33百万円増加し、799億45百万円となりました。主な要因は、仕入高の増加により支払手形及び買掛金が増加、運転資金の増加により借入金が増加、未完成工事の増加により前受金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比15億35百万円増加し、613億48百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,158	3,558
受取手形及び売掛金	55,585	61,171
商品及び製品	13,381	15,378
原材料及び貯蔵品	1,290	1,572
前渡金	6,942	9,215
その他	1,014	788
貸倒引当金	△85	△88
流動資産合計	80,287	91,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,981	17,391
土地	26,185	26,158
その他(純額)	4,293	4,182
有形固定資産合計	48,460	47,733
無形固定資産		
のれん	2	2
その他	207	193
無形固定資産合計	210	196
投資その他の資産		
その他	1,679	1,880
貸倒引当金	△112	△111
投資その他の資産合計	1,566	1,768
固定資産合計	50,237	49,697
資産合計	130,525	141,293
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,183	37,609
短期借入金	22,400	25,585
1年内返済予定の長期借入金	294	294
未払法人税等	1,256	1,086
前受金	3,168	5,585
賞与引当金	965	1,061
その他	1,798	1,156
流動負債合計	63,067	72,380
固定負債		
社債	5,009	5,006
長期借入金	876	729
役員退職慰労引当金	512	532
退職給付に係る負債	637	646
資産除去債務	176	177
その他	432	473
固定負債合計	7,644	7,565
負債合計	70,712	79,945

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	52,757	54,168
自己株式	△602	△603
株主資本合計	59,444	60,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371	480
繰延ヘッジ損益	△2	12
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	368	492
非支配株主持分	0	0
純資産合計	59,813	61,348
負債純資産合計	130,525	141,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	80,227	92,880
売上原価	72,800	84,117
売上総利益	7,426	8,763
販売費及び一般管理費	5,547	5,797
営業利益	1,879	2,965
営業外収益		
受取利息	4	4
仕入割引	48	30
その他	108	112
営業外収益合計	160	147
営業外費用		
支払利息	18	15
売上割引	24	24
その他	2	2
営業外費用合計	46	42
経常利益	1,994	3,070
特別利益		
固定資産売却益	78	79
投資有価証券売却益	44	11
特別利益合計	123	91
特別損失		
固定資産除却損	57	3
固定資産売却損	93	4
その他	0	0
特別損失合計	151	8
税金等調整前四半期純利益	1,965	3,153
法人税等	626	1,017
四半期純利益	1,339	2,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,339	2,136

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,339	2,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	108
繰延ヘッジ損益	△0	15
退職給付に係る調整額	△14	0
その他の包括利益合計	6	124
四半期包括利益	1,346	2,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,346	2,260
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。